【Ｒ１８】　会話形式ノベル

『大身体測定』

～登場人物の会話形式～

作：七条右京

【登場人物】

石川由衣（いしかわ　ゆい）：２年３組の女子生徒

田辺結菜（たなべ　ゆいな）：２年３組の女子生徒

田中拓海（たなか　たくみ）：２年３組の男子生徒

その他の女子生徒、男子生徒、女教師、男性教師。

藍碧（あいへき）学園の１クラスは少人数制で、約２４名。
この内男子は約４分の３、女子は約４分の１と言う内訳になっている。
以前は男子校だった為、現在でも女子の割合が少なくなっている。

☺

身体測定、どこの学校でも行われているものだが、この学園では男子生徒の羞恥心などを全く無視した、普通では考えられない身体測定が行なわれている。
〔大身体測定〕と称して、全学年、男女一緒に大体育館に集まって行なう。
男子は全裸、女子は制服のままで行なう。
身長と体重を測定するのだが、男子のみ性器の

測定がある。

この身体測定も、男子校時代の名残である。

☺

このノベルは、２年３組の女子二人（由衣と結菜）を主人公とした、体験を再現した物語である。

☺

○２年３組、身体測定当日の朝のホームルーム。

担任の男性教師：

「いいかぁ、この後、身体測定があるからな」

「忘れずに、大体育館に行って受ける様に」

「男子はもちろんの事、女子も忘れるんじゃないぞ」

「男子は、堂々と男らしくするんだぞ」

「女子に、ちんこ見て貰え」

「いいな」

「これで、今日のホームルームは終わる」

席が隣通しの女子と男子の会話風景。

女子生徒（石川由衣）：

「ねぇ、田中君、身体測定、楽しみね」

男子生徒（田中拓海）：

「なにが、楽しみね、だよ」

「オレは全然楽しくねえよ」

「また女子に、ちんこ見られ放題」

「恥ずかしいんだからな」

石川由衣：

「女子は、楽しみにしてるのよ」

「男子のおちんちん、見放題なんですもの」

「気になる男子のおちんちん、どんなおちんちんしてるのか見れるんだもの」

「田中君のおちんちんも、しっかりと見させて貰うからね」

「それに、おちんちんの長さ測定もあるでしょう？」

「女子は、大きさ興味あるわよ」

「ねぇ、田中君のは、何センチなの？」

田中拓海：

「オレのはどうでもいいだろう？」

「そんなの恥ずかしくて、言える訳ないだろう」

「もう、勝手にしろよ」

「男の、ちんこ、いっぱい見て楽しめばいい

さ」

由衣：

「言われなくてもそのつもりよ」

「しっかりと、楽しませて貰うわ」

☺

○大身体測定会場の大体育館

全校生徒を一斉に対象としているので、身長計は５台、体重計も５台、それぞれ１番から５番まで番号が振られている。

身長計の１番は男性教師、２番は学園の中でも男子生徒から人気の美人女教師、３番は女子の保健委員、４番は女教師、５番は女教師。

体重計の１番は新人の美人女教師、２番は女教師、３番は男性教師、４番は女子保健委員、５

番は新人の可愛い女教師。

男子性器測定の１番は女教師、２番は美人女教師、３番は可愛い女教師、４番は女教師、５番は女教師。

☺

女子生徒（石川由衣）：

「男子たち、みんな全裸になってるね」

「いい眺め、目の保養になる～～」

「おちんちん、見放題、ほんといいわ」

女子生徒（田辺結菜）：

「やだ、由衣ったら」

由衣：

「結菜だって、見たいくせに」

「隠さなくたっていいじゃない」